平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月９日

上場会社名　　株式会社やまびこ　　上場取引所　東
コード番号　　6250　　ＵＲＬ　http://www.yamabiko-corp.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長執行役員　　（氏名）永尾　慶昭
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）瀬古　達夫　　ＴＥＬ　0428-32-6111

四半期報告書提出予定日　　平成24年８月９日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	24,487	5.6	884	△48.9	663	△61.0	276	△78.7
24年３月期第１四半期	23,183	7.7	1,730	200.0	1,698	422.8	1,299	－

（注）包括利益　　25年３月期第１四半期　　609百万円（△59.2%）　　24年３月期第１四半期　　1,494百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	27.31	－
24年３月期第１四半期	135.48	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第１四半期	85,118	26,307	30.8	2,583.99
24年３月期	78,664	26,184	33.1	2,572.94

（参考）自己資本　　25年３月期第１四半期　　26,178百万円　　24年３月期　　26,067百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	－	－	48.00	48.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		－	－	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	48,500	2.6	1,700	△37.0	1,400	△41.6	800	△49.9	78.96
通期	89,000	2.4	1,900	△32.4	1,500	△48.0	1,000	△49.3	98.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名）　　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：有
②　①以外の会計方針の変更	：有
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	11,027,107株	24年３月期	11,027,107株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	896,166株	24年３月期	895,884株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	10,131,059株	24年３月期１Ｑ	9,592,256株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外でありますが、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となることがあります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかに回復が継続したものの、欧州景気の低迷や新興国の成長鈍化など総じて減速傾向で推移しました。国内経済は、長引く円高により輸出環境が悪化するなど厳しい状況にはあるものの東日本大震災の復興需要などを背景に持ち直しの動きが見られました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内農業機械市場は製品や地域によって差があるものの概ね堅調に推移しました。国内建設機械市場は引き続き需要が高水準を維持しました。

海外では、屋外作業機械市場において、最大市場である米国が景気の改善が見られたことや天候が順調であったことなどで堅調でしたが、欧州は主に景気低迷により需要が大きく落ち込みました。

また、為替相場は、対ユーロは一段と円高が進み、対ドルも前年同四半期に比べて円高で推移しました。

このような環境の下、当社グループは、「中期経営計画２０１４」の２年目を迎え、最終年度の目標達成に向けて新興国への新規市場参入や販売促進策の推進などにより売上拡大に注力するとともに、為替変動に対する抵抗力を更に高めるための海外生産移管の促進および部品の海外調達の拡大など種々の施策を講じて一層の収益力および国際競争力の向上に努めました。また、国内各生産拠点における組織統合や新たな生産システムの構築に着手するなど経営資源の有効活用および業務効率向上にも取り組みました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第１四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

［売上高］

当第１四半期連結累計期間の売上高は、244億87百万円（対前年同四半期比5.6％増）となりました。その内訳は、国内売上高が118億34百万円（同10.9％増）、米州の売上高は101億14百万円（同10.5％増）、米州以外の海外売上高は25億37百万円（同24.5％減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①　小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、174億91百万円（同5.4％増）となりました。

・小型屋外作業機械

国内は、動力散布機をはじめとした小型防除機やホームセンタールートでのチェンソーおよび刈払機などが堅調でした。

海外は、欧州が需要減退に加えて円高ユーロ安の進行などにより大きく落ち込みましたが、主力の北米市場は景気の回復および順調な天候に加え、大手小売業者であるホームデポに対する積極的な販売政策が奏功し刈払機を中心に大きく伸長しました。

その結果、売上高は122億69百万円（同2.9％増）となりました。

・農業用管理機械

国内は、新製品投入や拡販キャンペーンなどの効果でスピードスプレーヤが販売を伸ばしたほか、乗用管理機やブームスプレーヤなども堅調に推移しました。

米国の農業機械製造および販売子会社は、ジャガイモや大豆価格の高騰などを背景に前期に引き続き好調を維持しましたが、円高に伴い円換算後の売上高は減少しました。

その結果、売上高は52億21百万円（同11.9％増）となりました。

②　一般産業用機械

災害時の非常用発電機として一般家庭用にも使用可能なインバータ発電機が大幅に伸長するなど、全体に活発な動きが継続しました。

その結果、売上高は28億５百万円（同29.2％増）となりました。

③　その他（アクセサリー、アフターサービス用部品、他）

国内は前期並みを維持しましたが、海外は米国でアクセサリーが伸び悩んだことや円高の影響などもあり低調でした。その結果、売上高は41億90百万円（同5.3％減）となりました。

［損　益］

売上が増加したものの、円高に伴う利益率の低下に加え、未実現利益の増加による利益圧迫が大きく影響し、営業利益は８億84百万円（対前年同四半期比48.9％減）となりました。

営業外損失で為替差損が増加したことなどにより経常利益は６億63百万円（同61.0％減）、四半期純利益は２億76百万円（同78.7％減）となり、いずれも前年同四半期に比べて減益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて64億54百万円増加し851億18百万円となりました。

その主な要因は、季節的要因による受取手形及び売掛金の増加56億80百万円、現金及び預金の増加９億78百万円等によるものです。

② 負債

当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて63億31百万円増加し588億11百万円となりました。

その主な要因は、借入金の増加53億60百万円、賞与引当金の増加７億53百万円等によるものです。

③ 純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて１億22百万円増加し263億７百万円となりました。

これは、利益剰余金の減少２億９百万円、その他有価証券評価差額金の減少１億66百万円等があったものの、為替換算調整勘定の増加４億85百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント減少し、30.8％となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の収支は、営業活動によるキャッシュ・フローが29億18百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローが５億88百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが44億97百万円の収入となりました。その結果、当第１四半期連結会計期間末の資金残高は50億35百万円となりました。当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益６億39百万円、賞与引当金の増加額７億53百万円、未収消費税等の減少額７億８百万円、売上債権の増加51億96百万円等により、29億18百万円の支出（前年同四半期は20億28百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得５億28百万円、有形固定資産の売却４百万円等により、５億88百万円の支出（前年同四半期は２億89百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払４億86百万円、長期借入金の返済96百万円、短期借入金の純増加49億57百万円、長期借入れによる収入１億40百万円等により、44億97百万円の収入（前年同四半期は38億62百万円の収入）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く市場環境は、国内市場は比較的安定して推移するものと思われますが、為替相場が円高基調で継続していることに加え、欧州市場の景気低迷の長期化や米国での深刻な干ばつによる影響など、予断を許さない状況で推移するものと予想されます。

平成25年３月期の第２四半期連結累計期間業績および通期業績予想につきましては、売上高はほぼ前回予想通りに推移すると思われますが、円高の影響や未実現利益の増加などにより利益が前回予想を下回る見通しとなったため次表のとおり修正いたします。

なお、通期為替レートは、１ＵＳドル＝80円、１ユーロ＝100円と想定しております。

（前回、１ＵＳドル＝80円、１ユーロ＝105円）

平成25年３月期第２四半期連結（累計）業績予想数値の修正（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	48,000	1,900	1,800	1,100	108.58
今回発表予想（B）	48,500	1,700	1,400	800	78.96
増減額（B―A）	500	△200	△400	△300	―
増減率（%）	1.0	△10.5	△22.2	△27.3	―
（ご参考）前期実績（平成24年3月期）	47,265	2,700	2,396	1,597	166.53

※今回発表予想欄の１株当たり四半期純利益は、平成24年6月末現在の自己株式を除く期末発行済株式総数10,130,941株を分母として算出しております。

平成25年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	89,000	2,200	2,000	1,400	138.19
今回発表予想（B）	89,000	1,900	1,500	1,000	98.70
増減額（B―A）	―	△300	△500	△400	―
増減率（%）	―	△13.6	△25.0	△28.6	―
（ご参考）前期実績（平成24年3月期）	86,905	2,809	2,885	1,972	202.08

※今回発表予想欄の１株当たり当期純利益は、平成24年6月末現在の自己株式を除く期末発行済株式総数10,130,941株を分母として算出しております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

（為替換算における適用レートの変更について）

当社グループは、外貨建取引及び外貨建債権債務の為替換算における適用レートについて、電信売相場及び電信買相場を適用しておりましたが、平成24年４月１日以降、会計システムの更新に伴い、適用レートを電信売買相場の仲値に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、上記のシステム更新に伴うものであります。

なお、遡及適用した累積的影響額を前連結会計年度の期首時点で算定することは、過去の連結会計年度に関する外貨データの記録方法が異なるため、更新後の会計システムでは過去に遡及した電信売買相場の仲値による換算が出来ないため、実務上不可能であります。

そのため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高としており、外貨建取引及び外貨建債権債務は、期首から将来にわたり電信売買相場の仲値により換算しております。

また、この変更による影響額は軽微であります。

（為替予約の処理）

従来、為替予約については、振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を行なっておりましたが、会計システムを更新したことを契機として、デリバティブ取引に係る損益をより的確に表示するため、当第１四半期連結会計期間より原則的な処理方法を採用することとし、為替予約を時価評価し、外貨建売上債権及び外貨建売上取引をそれぞれ決算日レート及び取引レートで換算する方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、上記のシステム更新に伴うものであります。

なお、遡及適用した累積的影響額を前連結会計年度の期首時点で算定することは、過去の連結会計年度に関する外貨データの記録方法が異なり、更新後の会計システムでは過去に遡及した原則的な処理ができないため、実務上不可能であります。

そのため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高としており、外貨建取引及び外貨建債権債務は、期首から将来にわたり原則的な処理方法に変更しております。

また、この変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,056	5,035
受取手形及び売掛金	17,186	22,866
商品及び製品	23,702	23,602
仕掛品	1,076	1,081
原材料及び貯蔵品	6,119	6,335
その他	2,244	1,950
貸倒引当金	△132	△162
流動資産合計	54,252	60,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,293	7,297
土地	8,142	8,116
その他（純額）	5,088	5,315
有形固定資産合計	20,524	20,728
無形固定資産	507	495
投資その他の資産		
その他	3,909	3,701
貸倒引当金	△529	△517
投資その他の資産合計	3,380	3,184
固定資産合計	24,412	24,409
資産合計	78,664	85,118
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,595	17,195
短期借入金	20,252	25,536
1年内返済予定の長期借入金	2,048	2,715
未払法人税等	278	507
賞与引当金	―	753
製品保証引当金	662	573
その他	4,172	4,637
流動負債合計	45,009	51,918
固定負債		
長期借入金	2,232	1,642
退職給付引当金	3,282	3,230
環境対策引当金	34	34
製品保証引当金	―	117
その他	1,920	1,866
固定負債合計	7,470	6,892
負債合計	52,480	58,811

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,527	9,527
利益剰余金	14,037	13,827
自己株式	△916	△916
株主資本合計	28,648	28,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416	249
繰延ヘッジ損益	△2	―
為替換算調整勘定	△2,995	△2,509
その他の包括利益累計額合計	△2,581	△2,259
少数株主持分	117	129
純資産合計	26,184	26,307
負債純資産合計	78,664	85,118

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	23,183	24,487
売上原価	16,267	18,363
売上総利益	6,916	6,123
販売費及び一般管理費	5,185	5,239
営業利益	1,730	884
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	39	37
その他	85	83
営業外収益合計	134	129
営業外費用		
支払利息	92	90
為替差損	58	251
その他	16	8
営業外費用合計	166	351
経常利益	1,698	663
特別利益		
固定資産売却益	58	2
特別利益合計	58	2
特別損失		
固定資産除売却損	22	26
その他	7	－
特別損失合計	30	26
税金等調整前四半期純利益	1,726	639
法人税、住民税及び事業税	454	419
法人税等調整額	△51	△61
法人税等合計	402	358
少数株主損益調整前四半期純利益	1,323	281
少数株主利益	24	4
四半期純利益	1,299	276

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,323	281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△166
繰延ヘッジ損益	5	2
為替換算調整勘定	172	492
その他の包括利益合計	171	328
四半期包括利益	1,494	609
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,456	597
少数株主に係る四半期包括利益	38	11

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,726	639
減価償却費	628	607
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△77	△52
貸倒引当金の増減額（△は減少）	14	11
受取利息及び受取配当金	△48	△46
支払利息	92	90
賞与引当金の増減額（△は減少）	669	753
売上債権の増減額（△は増加）	△5,796	△5,196
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,326	574
仕入債務の増減額（△は減少）	2,139	△621
未収消費税等の増減額（△は増加）	576	708
その他	△162	△124
小計	△1,564	△2,655
利息及び配当金の受取額	49	46
利息の支払額	△87	△86
法人税等の支払額	△421	△223
災害損失の支払額	△4	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,028	△2,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△525	△528
有形及び無形固定資産の売却による収入	279	4
その他	△42	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△289	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	4,469	4,957
長期借入れによる収入	－	140
長期借入金の返済による支出	△255	△96
配当金の支払額	△335	△486
その他	△16	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,862	4,497
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△11
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,567	978
現金及び現金同等物の期首残高	4,053	4,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,621	5,035

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小型屋外作業・農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への売上高	16,587	2,171	18,759	4,424	－	23,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,359	1,553	12,912	1,341	△14,254	－
計	27,946	3,724	31,671	5,766	△14,254	23,183
セグメント利益	1,254	60	1,315	1,458	△1,044	1,730

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△1,044百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致させております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小型屋外作業・農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への売上高	17,491	2,805	20,296	4,190	－	24,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,655	2,082	14,738	1,360	△16,099	－
計	30,146	4,888	35,035	5,551	△16,099	24,487
セグメント利益	254	162	417	1,525	△1,057	884

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△1,057百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致させております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。